

第1回 学校運営協議会 議事録

第1回：令和5年度 学校運営協議会（発信者ごとの要点議事録）

場 所：西東京市立田無第二中学校 会議室

出席者：和田 和文（会長）、真鍋 五十鈴委員（副会長）、勇 昇一委員  
一之瀬 裕幸委員、永井 昌史委員、本間 孝子委員、小林 あすか委員  
矢野 尊久委員、南川 広幸委員  
全員の出席により、本会議は成立

次第1

- ・木村教育長からのDVDメッセージ紹介。

校長：お忙しいところありがとうございます。会に先立ち、教育長からのDVDメッセージが届いていますので、御覧ください。

- ・校長挨拶

こんにちは。昨年度から2名ほどメンバーが変わりました。コロナ禍でこのところ地域と協力しながら取り組んでいくことは少なかったのですが、こちらの活動のおかげで、昨年度様々なことが実施できました。改めてお礼を申し上げ、今年度も昨年度同様に実施していきたいと思えます。新しい委員の方もよろしくお願ひします。

- ・配布資料の確認

副校長：本日お手元に、本日の次第、任命書（氏名の確認）、経営方針、コミュニティー  
スクール取組状況、学校評価計画表、受領届があります。受領書には報酬謝礼の  
項目があり、今回から毎回協議会後に提出いただくこととなります。お名前をお  
書きくださいませ、本協議会終了後にご提出ください。本年度よりご参加の2  
名の委員には昨年度の資料も加えてお渡ししています。

- ・自己紹介

委員：最初に自己紹介をお願いします。本校勤務も2年目となりました。昨年度は分らないことがいっぱいでした。お助けいただきありがとうございます。今年度もよろしくお願ひします。

委員：本校勤務も4年目となりました。市内の複数の学校でも努めてまいりました。本協議会は皆様のご協力でやっております。よろしくおねがひします。

委員：よろしくお願ひします。

委員：前任者の退職により、私が本年度の業務を行います。協議会は初めての経験です。地域づくりを念頭に置き、参加していきます。

委員：中学校で子供が育つ様子を見て、地域から協力できることは何かと思ひます。自身も子供の教育に関わる仕事をしており、ご協力できればと思ひます。

委員：今回が2年目の協議会への参加です。皆様よろしくお願ひします。

委員：地域企業として参加させていただきます。弊社も職場訪問を昨年度受け入れ、これからさらに門戸を広げられるようご協力いたします。

委員：育成会として20年以上活動を行ってきました。お役に立てるよう、よろしくお願ひいたします。

委員：私にも子供がおり、本校の部活動に所属していました。親子とも二中で過ごしてきました。よろしくお願ひします。

- ・会長互選

副校長：今年度の会長について決めさせていただきたいと思ひます。昨年度は折田さんにお願ひいたしました。今年度はいかがいたしまししょうか。

委員：昨年度同様でお願ひしたい。

委員：それをお願いしたい。

会長：昨年もやらせていただいたので、この会を進めていきたいのでよろしくおねがいします。副会長も昨年度同様でお願いします。

副会長：了解しました。皆様、よろしいですか。今年もよろしくお願いします。

## 次第2

### ・会長挨拶

会長：教育長の話があり、意見を学校運営に反映していきたい。その意見を言ったり聞いたりして、二中がよくなるようにしていきたい。

### ・学校運営に関する基本事項の説明・承認

校長：学校協議会とは学校運営とイコールなものがあります。地域と学校とが両方に利益や援助を受けながらやっていきたいと考えます。学校経営方針の承認を本協議会で行い、課題があれば訂正して職員に伝えていきます。

昨年度本協議会から、教員人事に対する意見の申し出がありました。CSからの意見を受け、異動教員への公募案内が市のホームページに掲載します。昨年度はその制度を活用して人事を行うことができました。

学校評価での意見と評価をA B C Dでいただきます。その評価を受けて学校運営に反映させていきます。

尚、本協議会での議事内容は守秘義務が課されますので、十分ご注意ください。

また、報酬については毎会議支給されます。必要のない場合には、その旨をお申し出ください。会議は全5回開催予定です。

本年度は教育長からもあるように地域とともにできる学習『ふるさと探究学習』を行います。1年生では市内巡り、2年生では職場訪問と、3年生では地域の高校の体験授業などを行う予定です。

4月12日は西東京平和の日として設定されています。ウクライナでの情勢から平和について考える機会もあります。平和教育で本会議を通じて何か良いお知恵があればご協力願いたいです。

昨年度は3月1日に市役所に成果と課題を報告いたしました。本協議会の資料にもお示しした通りですのでご確認ください。1年間を通して協力をいただき活動できたことの成果は大きいと考えます。

### ・経営方針について

校長：経営方針案をご覧ください。本協議会の承認を受けて、本校の職員へも通知いたします。まず、昨年度と変わっている箇所がアンダーラインでお示ししてあります。

#### I 創意工夫する田無第二中学校へ

「一人ひとりの教職員が協働して質の高い教育を目指して田無第二中学校を築けるよう、主体的に学校経営に参画していく。」とあります。「普通を極める」ということを掲げました。公教育ですので特別なことを行うではなく、普通のことを高めるということを行います。次に昨年度にもありましたが、「トライ&リフレクション」です。

#### II 教育目標

引き続き、「健康・誠実・敬愛」を本校の教育目標として掲げられています。

#### III 目指す生徒像

「一人ひとりを大切にし、誰ひとり取り残さない学校をとあります。」不登校生徒の削減を目指していきたいと思えます。都の不登校生徒の平均が約5%です。本校はそれよりも若干多い、不登校生がいました。不登校加配教員の申請を教育委員会にし、本年度はその申請が通りました。教員が増え、不登校生徒の削減を目指しま

す。不登校生徒の割合を5%以下にしていかなければいけないです。不登校を出さないだけでなく、不登校になった生徒へのきめ細かい支援を長期的に行います。

#### IV 目指す生徒像

生徒主体の学校を目指します。生徒主体の授業が良いと昨年度の研究をした中で結果が見えました。目指す生徒像は主体的な学びを行う生徒です。あとは昨年度との継続になります。

#### V 目指す教師像

特別支援教育の推進を行います。不登校生徒削減も目指し、支援をすれば変わる生徒もいます。生徒一人ひとりの特性に応じた教育が必要だと考えます。個々の発達や課題に応じ、寄り添う教師を目指します。生徒主体の授業を進める教師とはファシリテーション能力のある教師です。生徒主体の授業を進める上で必要なことだと考えます。また、地域との関係を追加しました。地域と疎遠な教師は困ります。地域とともに教育活動を支え実践できる教師を目指します。

#### VI 目標達成のための学校経営方針

1 感じ取り、考える生徒ためにとあります。これは生徒が主体となる指導です。授業において講義形式以外の積極手的な取り入れをし、大学のような講義形式ではなく、子供が話し合ったり考えたり、発表したり共有したりする授業を行います。ICTを活用した中で、研修成果から出た結果でもあります。個別最適化された学びにおいては指導の個別化、学習の個性化を取り入れ、協働的な学びとのベストミックスの実現を行います。生徒が自分で決めた目標に進む授業を行います。わかりやすい授業とはユニバーサルデザインされた授業であり、授業評価を見直しながら改善していきます。子供にもファシリテーション能力をつけます。社会に出て組織人として引っ張っていく能力を身に付けさせることが必要です。あるべき結論に向かい子どもたちが進み、行うために4人班を作り、話し合いや活動を通して生徒が授業の目的を見定めた授業を行います。問題解決に向けてでは情報活用能力が必要で、昨年度と同じですが、昨年度の研究成果の継続を行います。指導と評価の一体化では評価をどのように付けていくのかを研究していきたいと思えます。今年度は研究部を中心に学びに向かう力を、研究テーマとして一年間行います。不登校生徒への寄り添った指導では、自己有用感を高めていきたいです。自分を大切にする、他者理解する、多様性の重視することです。本校では男女混合名簿を用い、男女表記をしておりません。制服もABC型で男女は関係ないものを選べます。体育も男女共習を行います。不登校生徒にも寄り添い、不登校加配配置校としての取組を行います。生徒が自主的により良い校内生活を考える風土の醸成ですが、昨今ブラックな校則などともよくメディアで取り上げられます。子どもたち自身が考えて校則を考える活動を行わせたいです。早速、本校の生徒会担当の教員からタブレットの使い方について、生徒会で働きかけ決まりを考え行動させたいと申し出がありました。子供たち自身が考えて実践していく風土を醸成させていきます。

2 感じ取り、考える教職員を目指すとあります。PDCAサイクルを基に教員が目標を設定し、評価し、学校評価に反映していきます。質の高い公立学校における教育の実践のために、西東京とベクトルを揃えることが大事だと考えます。業務効率の改善を行い、子供たちに向ける時間をつくることをしていきます。時間、物、意識の整理をした働き方改革の実践に当たります。感染症に対して新しい行事や授業のあり方も作ります。地域学校協働活動では地域と連携して様々な活動を行いたいと考えます。

3 信頼ある学校のために教員の職務、サービスをきちんとしていきたいと考えます。子供の前だけでなく、職員室や職員同士の会話でも子供を「さん」付けして呼びます。西東京市あつたか先生の研修担当を設けています。生徒だけでなく、職員の中においてもハラスメントのない職場づくりを行います。

## Ⅶ振り返りについて

問題を解いたときの振り返りとして、できた、できないだけでは第1段階の振り返り、つまりコンテンツの振り返りとなります。プロセスの振り返りは第2段階で、課題に取り組んだ過程について、目を向けさせ、自分がどのように関りどのように取り組んだかを考えさせます。結果だけでなく、どのような過程で何をどのように学んだか、学びについて知るきっかけとなります。第3段階はリフレクションにより振り返りです。振り返りが他のものに応用できると本当の振り返りになります。状況によりその振り返りが反映していけるようになると第3段階だと考えます。合唱コンクールを例にしますと、歌が歌えたでは第1段階、係の生徒が振り返り、こうしていくとうまくいくと学んだ場合には第2段階となります。振り返った結果、社会でこうしていけばいいんだとわかれば、第3段階のリフレクションとなります。

この学校経営方針を本協議会で承認いただいた後、この学校経営方針に基づいて、各教員方が自己申告を書くこととなります。評価表については次回改めてご説明させていただきます。

司会：何か質問があればいかがでしょうか

委員：一点あります。田無第二中学校では不登校生が若干多いとありました。様々な理由があるとは思いますが、なにが原因かというものはあるのでしょうか。

校長：原因は十人十色です。勉強ができない、集団が苦手、いじめはない、家庭の事情、本人の特性として人と過ごすより一人がいいなど様々です。一概に、これが原因であるとは言えない状況です。

委員：ありがとうございます

委員：小学校の持ち上がりの不登校と中学校から新たな不登校の両方いるのですか。

校長：両方います。勉強が苦手な子は中学校では難しくなるので嫌になることがあります。担任がずっとクラスにいる小学校と違い、中学校では担任の先生の配慮が小学校とは違います。小学校とは違い対応も変わってきます。中学校になってからの不登校は小学校からの継続した不登校と比べると半々程度でしょうか。

副校長：かつては不登校だったが改善している生徒もいます。時々学校に来ている生徒もいます。受験の不安などが原因で学校に来られなくなっている生徒もいます。

委員：不登校生徒削減とありますが、学校に来ることがその子にとっての正解ではないとも思います。削減と経営方針に明記しまうのはどうかと思うのですが。

校長：スキップ教室でも出席になるので、学校に何が何でも来ていなくてもいいということです。スキップ教室と学校と、その間はないのかも模索しています。グリーンスペースを一室開放することを昨年度呼びかけました。保護者は良しとしましたが、子供は利用しなかったということもありました。事実上、うまく行かなかった部分もあります。本年度はそこをテコ入れしたいと思います。来なければ何ができるのかを考え、自宅でも構わない、グリーンスペースを使ってみる、適応教室に行く、ニコモ教室を利用するなど、子どもたちの状況に合わせて対応していきたいと思います。

少しでも子どもたちが将来活動できる方策を考えています。なお、不登校加配を本校は受けております。対応をして成果を出さないといけないのです。不登校加配を受けら場合、不登校発生率を減らさないといけないと、東京都からの説明を受けております。

委員：タブレットの配信授業はどうでしょうか。

校長：グリーンスペースではやっていきたいと思っています。家庭での配信は西東京市のセキュリティーポリシー上、できないのが現状です。家庭での活動も考えていきなればなりません。

委員：コロナウィルスの扱いが5月から5類になります。コロナ対策を迫られた3年間でマスク外せない、修学旅行に行けない等の生徒がいたと思います。そのフォローはどのようになさっているのでしょうか。

校長：コロナをきっかけとした不登校はいません。コロナ感染不安で入試日の前に休む生徒は3年生の中にはいました。本校ではフォローとして、1、2学期の初めに相談習慣を設けています。アンケートを取りながら、SCや学年の教員とともに対応しています。

司会：それでは学校経営の基本方針の承認に移ります。不登校生徒の削減はそのままでよいでしょうか。

校長：東京都が不登校児童生徒の削減を掲げているので、そのままで行くとありがたいです。

司会：それでは異議もないようなので、学校経営方針については承認いたします。

校長：ありがとうございます。

#### ・今後の活動についての提案と相談

司会：今後の活動についての提案は、委員の皆さんから他にありますか？

委員：昨年度から引き続き花壇の整備をしていきます。子供たちのリクエストした苗、植物を植える計画は継続していきたいです。西東京市中部地域協力ネットワークのふらわーネットにも入っているので花のことはやっていきたいです。あとは、この場で協議しながらやっていきたいと思います。

副校長：地域共同活動の主な取り組みを見てください。昨年度は次の取組を地域共同活動として行いました。夏休みの補習教室を2日間程度実施しました。地域清掃ボランティアも皆さんの協力をいただいて3日間行いました。職場訪問では複数の委員さん協力いただきました。今年度もより多くの地域の職場を開拓していきたいと考えております。放課後自習教室は全部で4、5回開催したと思います。定期考査前の放課後4時から5時に開きました。本協議会の委員の方々やPTAの方に協力をいただきました。図書室は一人で集中して学習をしたい生徒を対象として開放し、話をして学習したい人にはパソコン室を開放しました。生徒の評価は良好でした。この活動に協力してくる人に飲み物などのお礼をしたかったのですが、予算の賛同が難しかったため見送ることになりました。地域協力企業の協力の下、体育館の壁をみんなで塗り直しました。1日できれいになり、生徒も参加してくれました。達成感もあり、協力してくださった企業さんも上手に生徒に指示を出してくださっていました。地域との繋がりもでき、とても良い機会となりました。今年度も継続してくものと新たな活動を行うものはいかがでしょうか。放課後自習教室の継続は生徒の要望もあり、行いたいと思っています。

司会：昨年度同様担当の副会長さんが音頭をとってやっていく方向でお願いしたい。

副校長：夏休みの補習教室は地域の方や卒業生が生徒に分からないところなどを教えてくれていました。放課後自習教室は講師はおらず、図書室とパソコン室にPTAのお手伝いをいただいて行いました。この活動は別々のものであります。夏休み補習教室は副会長さんが主担当としてやっていただけるとありがたいです。

委員：補習教室は教えるということなので卒業生、高校生に声をかけていこうと思います。大人よりも先輩たちに聞く生徒が多く、高校生や大学生のなどの二中に関わる生徒が来ると生徒も親しみやすいようでした。今年度の卒業生の中にもぜひ行かせてほしいという声もあります。高校生や大学生中心で行いたいと思います。

校長：西東京平和学習でもお世話になるかもしれない

委員：はい。地域での協力者を手配できるかもしれません。

司会：P T Aの方の協力も今後ともよろしくお願ひいたします。補習教室は昨年度と同様の担当者で、地域清掃は民生員のご担当の方で、職場訪問は地域の企業や職場のご担当の委員さんを中心にお願ひします。

校長：今年は職場体験を1日お願ひしたいと考えております。何時間でも構わないので本協議会の方々のご協力をお願ひいたします。

副校長：複数の事業者さんからの協力の声もいただいております。職場体験は11月17日に予定しています。

委員：塗装ボランティアでは保護者の方の参加が嬉しかったです。チラシを作ったことで多くの方が参加してくれたことが嬉しいです。学校運営協議会では、地域は把握できても二中の保護者の様子は見えづらかったです。保護者と繋がったのが嬉しいです。楽しみながらやったのが良かったです。子どもたちも充実感がありよかったです。SDGsにもつながる活動ではないでしょうか。

司会：今年もコーディネーターを中心に行うが、担当の委員さん、お願ひします

委員：皆さんの協力で成り立つものです。皆様よろしくお願ひします

副校長：提出していただ書類の記入とご提出をお願ひします

司会：この会議の議事録のホームページに乗ります。議事録をご確認ください。名前は載りません。しかし、委員の一覧は載ります。本日はありがとうございました。